

2 微小地震震源分布

図3は、「JUNEC」に基づく過去（1985-1998）の浅い微小地震の震源分布実体視図である。長野-飯山-長岡-新潟、を上端とし日本海側に落ちる震源分布の面が観察できる。ただし、長岡-湯沢方面では地震が少ない。

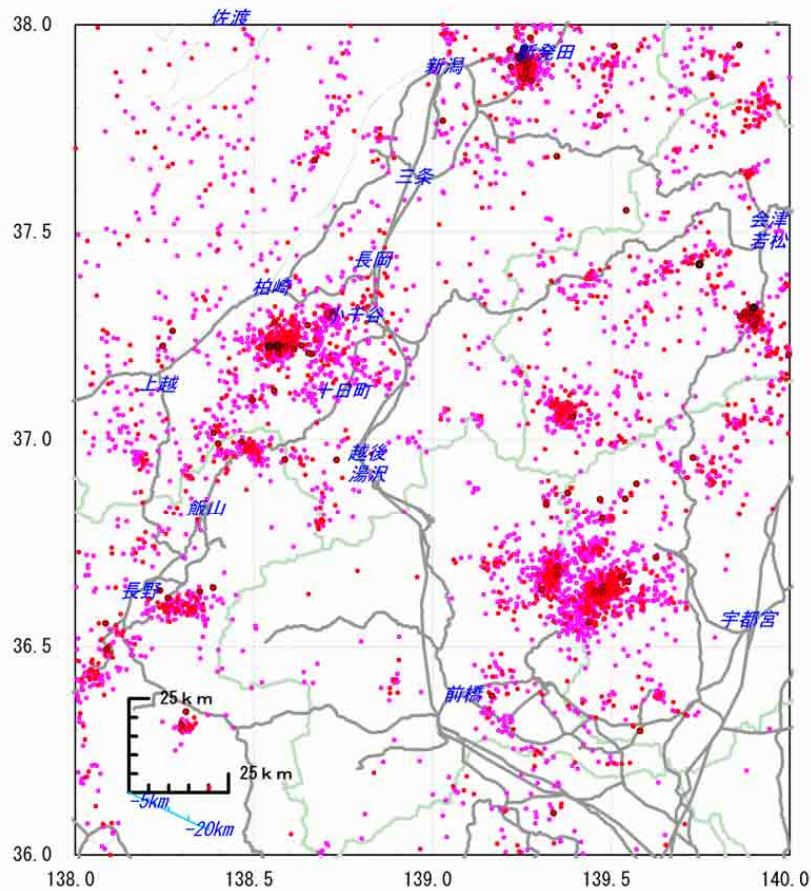
図4は、気象庁データに基づく中越地震・およびその余震の震源分布である。過去の微小地震の震源域とは異なった場所で地震が多発している。

注 図3・4は旧座標系

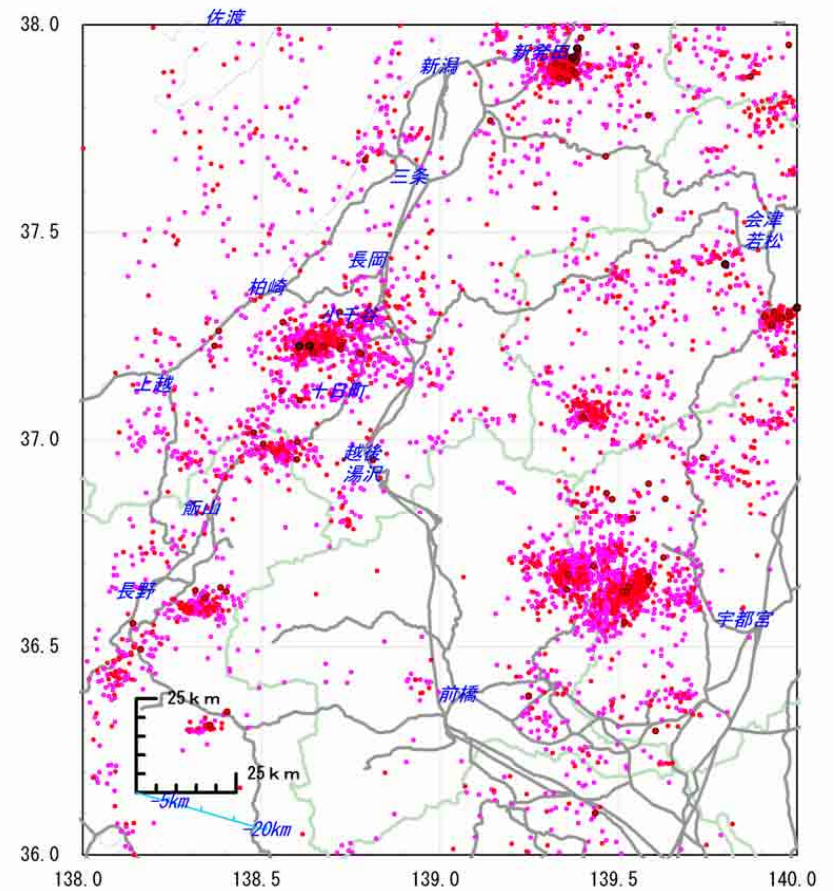
鉄道の緯度経度は国土情報ウェブマッピングシステムより入手

※
左側が
実位置

右側と
あわせて
実体視可能



— 鉄道
JUNEC微小地震 M
● 2.0~2.5 ● 2.5~3.5 ● 3.5~4.5 ● 4.5以上
(実位置表示)



— 鉄道
JUNEC微小地震 M
● 2.0~2.5 ● 2.5~3.5 ● 3.5~4.5 ● 4.5以上
(実体視用 補助画像)

図3

JUNECカタログに基づく 中越地震発生以前の微小地震震源分布 震源深さ <20 km 地震限定 1985/07-1998/12

JUNECカタログ：国内大学のネットワークによる微小地震データベース 1985/07-1998/12 分が公開されている

Japan University Network Earthquake Catalog <http://www.eic.eri.u-tokyo.ac.jp/CATALOG/junec/index-j.html>

※
左側が
実位置

右側と
あわせて
実体視可能

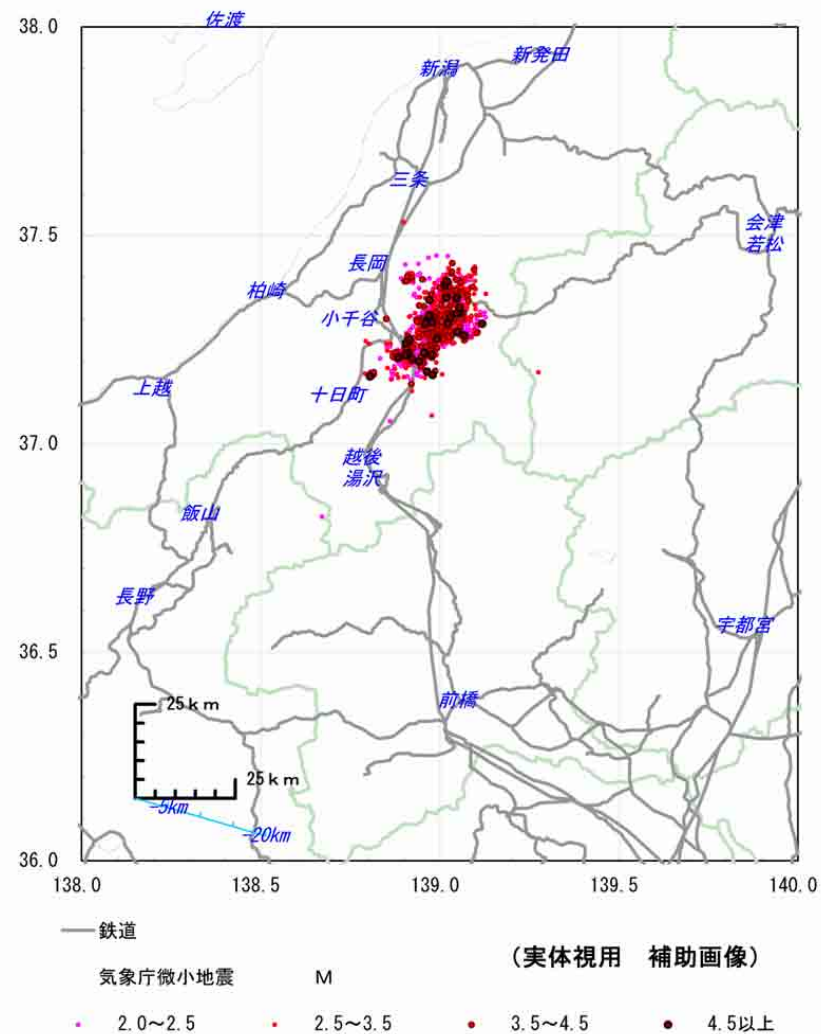
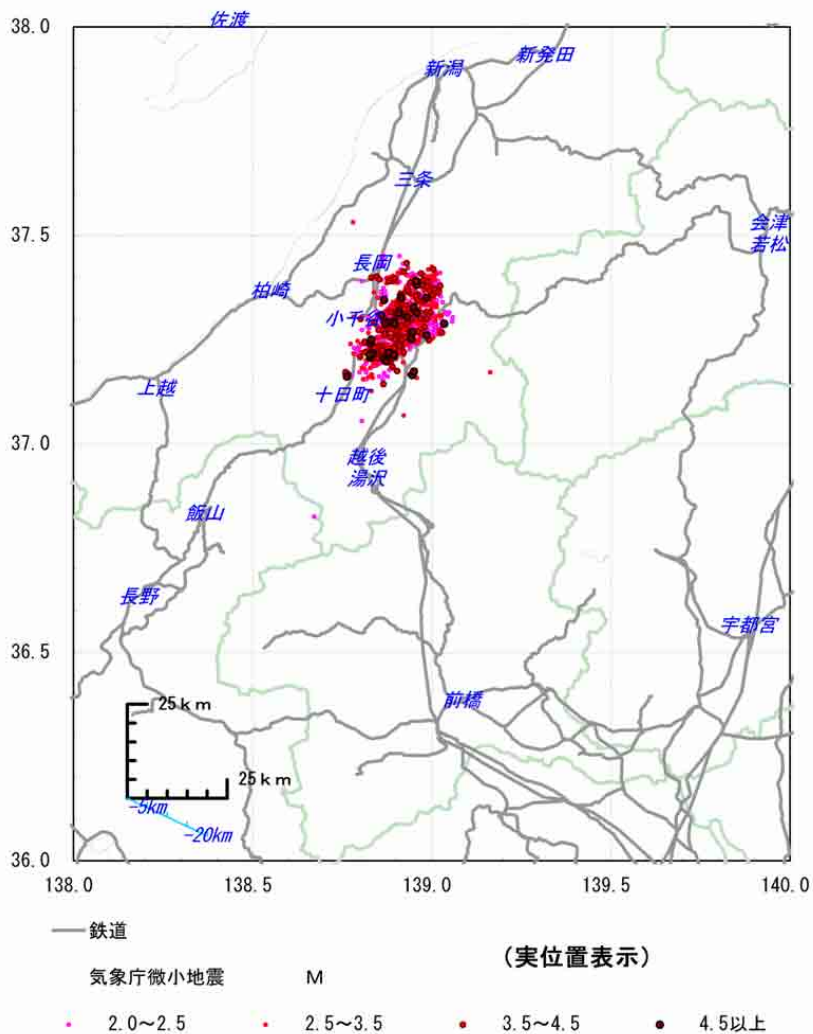
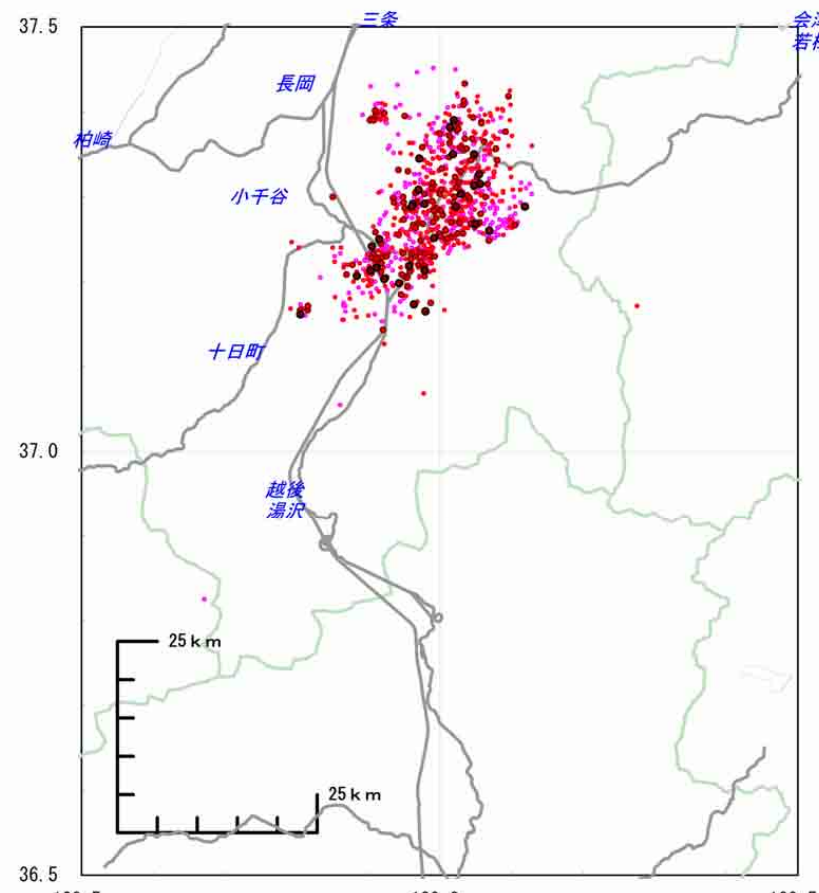
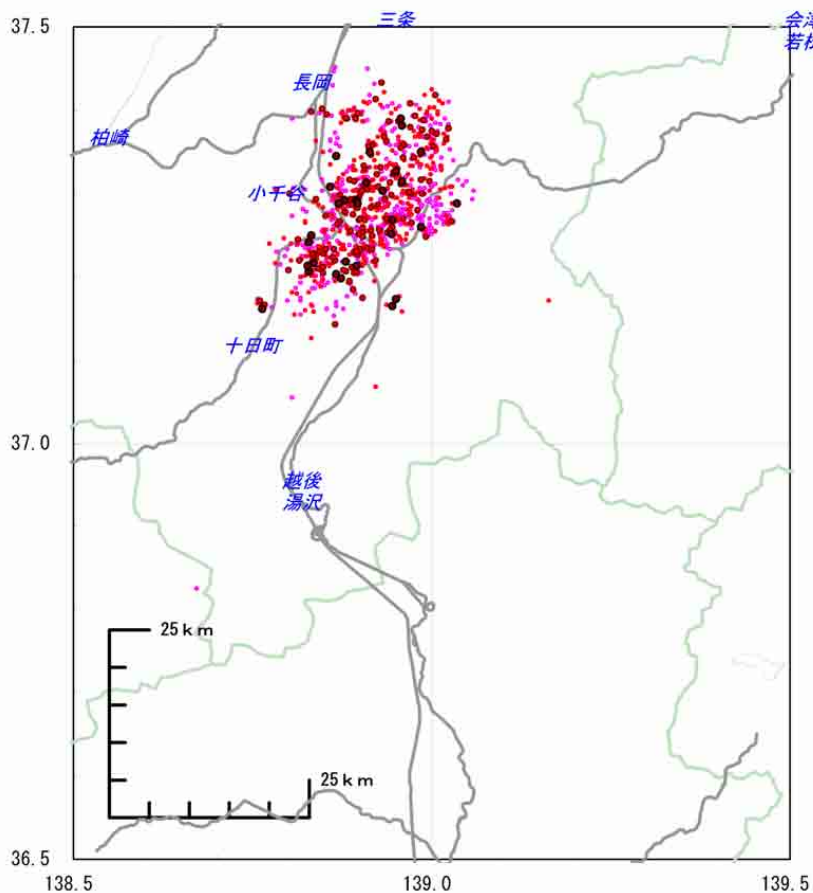


図4

気象庁公開微小地震データに基づく 中越地震発生後の微小地震震源分布 震源深さ <20 km地震限定 中越地震発生直後：04年10月23~31日
 気象庁公開微小地震データ： 下記HP中「日別地震活動図」の項で最近発生した微小地震の震源データが公開されている。ここでは、中越地震直後におけるデータを取得し、図化した。
<http://www.seisvol.kishou.go.jp/eq/index.html>

※
左側が
実位置

右側と
あわせて
実体視可能



— 鉄道
 気象庁微小地震 M
 ● 2.0~2.5 ● 2.5~3.5 ● 3.5~4.5 ● 4.5以上

— 鉄道
 気象庁微小地震 M
 ● 2.0~2.5 ● 2.5~3.5 ● 3.5~4.5 ● 4.5以上

図4 拡大

気象庁公開微小地震データに基づく 中越地震発生後の微小地震震源分布 震源深さ <20 km地震限定 中越地震発生直後：04年10月23~31日
 気象庁公開微小地震データ： 下記HP中「日別地震活動図」の項で最近発生した微小地震の震源データが公開されている。ここでは、中越地震直後における
 データを取得し、図化した。
<http://www.seisvol.kishou.go.jp/eq/index.html>